

ゼロカーボンシティ長崎推進特別委員会 総括質疑順序(案)

順序	委員名
分類1 脱炭素な都市の形成	
1	<p>(1)公共交通機関等の脱炭素化への取組について</p> <p>2050年のカーボンニュートラルの実現に向け、公共交通機関や自動車などの運輸部門の脱炭素化は重要である。運輸部門の脱炭素化に向けては、走行中にCO₂を排出しない水素自動車の普及も今後の選択肢の1つとして有効であると考えられるが、長崎県は九州で唯一水素ステーションがなく水素自動車の普及が困難であり、水素ステーションの整備が不可欠である。導入について市の考えを伺いたい。</p> <p style="text-align: right;">山崎 猛</p>
2	<p>(1)郊外に宅地開発が進んだ結果における環境負荷について</p> <p>都市構造の高度化をもっと見直し進めるべきで、高度化で立地適正化区域の都市機能誘導区域は特に進めるべきと考える。移動距離を短くする移動量を縮減するまちづくりを考えると高度化のための規制緩和と斜面市街地のリノベーションを進め生活利便性の高いまちづくりを進める考え方について伺いたい。</p> <p style="text-align: right;">山本 信幸</p>
分類2 環境にやさしいエネルギーの活用と環境関連産業の活性化	
3	<p>(1)木質バイオマスの促進について</p> <p>木質バイオマスは実現できればCO₂削減効果が大きく森林等の保全にもつながる。木質バイオマス促進のために林道の整備を進めるべきと考えるが、市の見解を伺いたい。</p> <p style="text-align: right;">池田 章子</p>
分類3 日常生活や事業活動の脱炭素化への転換	
4	<p>(1)住宅の省エネルギー化について</p> <p>市営住宅の外壁、屋根、窓の断熱等に取り組む必要があると思うが、市の見解を伺いたい。 また、住宅性能向上リフォーム補助、とりわけ省エネ化に対する補助枠を拡充すべきと考えるが、市の見解を伺いたい。</p> <p style="text-align: right;">池田 章子</p>
5	<p>(1)市民や事業所の省エネ行動について</p> <p>省エネへの取組を喚起するための広報や誘導政策について伺いたい。</p> <p style="text-align: right;">池田 章子</p>
6	<p>(1)市民、事業者の環境意識の向上と脱炭素について</p> <p>市民への周知啓発のための告知の方法について伺いたい。</p> <p style="text-align: right;">山崎 猛</p>
7	<p>(1)温室効果ガス排出量の削減目標における民生業務の具体性について</p> <p>2030年までに民生業務部門において排出量を60万8,000トンから39万5,000トンと21万3,000トン減らすための確実に具体的な施策を示してほしい。</p> <p style="text-align: right;">山本 信幸</p>
8	<p>(1)2030年までにZEH住宅が新築住宅のうち60%となる想定をしているが、目標達成に必要な住宅供給がなされない場合の打開策について</p> <p>ZEH住宅が住宅着工数の推移により目標達成に必要な戸数が供給されない可能性を、一般住宅に置き換えるのではなく、新築住宅のうちZEH基準に適合する住宅割合を増やす施策の追及を図るべきと思うがその考えはないか伺いたい。</p> <p style="text-align: right;">山本 信幸</p>

分類4 二酸化炭素の吸収源対策と利活用の促進		
9	<p>(1)二酸化炭素分離回収事業について</p> <p>①清掃工場をバイオマス活用の中心施設と位置付け、カーボンリサイクルなどエネルギーや資源が地域内で循環する仕組みを他都市では行っているが長崎市ではどのように考えているのか。</p> <p>②藻場が喪失する磯焼けなどにより、水産資源の減少に併せ、海洋による二酸化炭素吸収源が減少しているが、この対策としてどのように取り組んでいくのか。</p> <p>③長崎市の森林は、大部分が民間所有であり、手入れが行き届かず放置されている。これらの森林の整備をどのように進めていくのか。</p> <p>また、森林整備を進めるにあたり、他都市の取組を参考に、就業人口を増やすための手段につなげていけるのではないのか。</p>	山崎 猛
分類5 全体計画		
10	<p>(1)国の補助メニューの活用について</p> <p>市のゼロカーボン政策に対する国の補助メニューの活用状況について伺いたい。</p>	池田 章子
11	<p>(1)2030年、2050年に向けたロードマップについて</p> <p>具体的なCO₂削減の方法が示されていないが、市の見解を伺いたい。</p>	池田 章子
	<p>(2)野心的数値目標の実現について</p> <p>東京都が建築物へ太陽光発電設備の設置を義務化するなどの取組を強化するように、長崎市が、掲げる目標を達成するには一步踏み込んだルールや予算が必要になると思うが、具体的にどのように考えているか伺いたい。</p>	平野 剛
	<p>(3)気候非常事態宣言への発展について</p> <p>ゼロカーボンシティの取組を推進させるために、気候非常事態宣言として発信することで、市民・事業者と認識を共有し、地球温暖化防止実行計画の目標達成につなげることが必要であると思うが、市の見解を伺いたい。</p>	中西 敦信
	<p>(4)削減戦略の実践について</p> <p>2030年までの温室効果ガス削減目標を達成させるために、削減戦略をどう実行に移していくのか市の見解を伺いたい。</p>	中西 敦信